

第1学年 学級活動（保健）指導案

指導者 T1 学級担任
T2 養護教諭

1 題材名 性被害の防止

2 題材設定の理由

心身のアンバランスのこの時期は、心理的に不安定な時期であるため、些細なことが深刻な被害を与えることにもなりかねない。そこで、性被害が身近に起こりうる現状を知り、その原因を考える中で、被害者や加害者にならないための判断力や態度を身につけ、自分や他人の心とからだを大切にし、健全な発達を遂げる必要がある。

3 本校生徒の実態（平成 年 月 日調べ 1年生 男 名 女 名合計 名）

1 通学路にある 110 番の家の場所を知っていますか？	ア はい	イ いいえ
2 過去に知らない人から声をかけられて怖い思いをしたことがありますか？	ア はい	イ いいえ
3 「はい」と答えた人で、どこでどんなふうに声をかけられたかを覚えている人は、詳しく書いて下さい。 ()		
4 登下校の時、どんなことに気をつけていますか？	ア 一人で学校に来たり、帰ったりしない。 イ 通学路を通る。 ウ 寄り道をしない。 エ 知らない人にはついていかない。 オ その他 ()	
5 学校や家の周りで、一人でいたら危険だなと思う所はどんな所ですか？（思う所がある人は回答） ()		
6 知らない人に声をかけられたらどうしますか？	ア 助けを呼ぶ イ 近くの家に逃げ込む ウ 逃げる オ 無視する カ その他 ()	

4 指導のねらい

性被害の実際について正しく理解し、進んで性被害の予防に努めようとする能力や態度を身に付ける。

5 学習計画及び評価規準

月 日	過程	活動の場	活動内容	評価規準
月 日	事前	朝の会	アンケート調査を行い、実態を把握する。	性被害について自分の生活を振り返り、答えようとしている。（関心・意欲・態度）
月 日	本時	学級活動	性被害の防止について考える。	どのような事件・事故が発生しているのか、またその危険性を理解している。（知識・理解） 性被害にあわないための対応を理解し、自分の身を守るために行動をとろうと判断している。（思考・判断）
	随時		性被害防止のための適切な判断や行動を心がける。	性被害の加害者や犯罪者にならないための判断と行動ができる。（技能・表現）

6 本時の指導

- (1) 目標 性被害の現状から、その原因を理解するとともに、日常生活の中で、性の被害や加害を防止するための心構えと態度を養う。
- (2) 準備・資料
 - ① アンケート結果
 - ② 性被害に関する資料
 - ③ ワークシート
 - ④ ストップウォッチ

5 展 開

学習活動・内容	教師の援助及び評価（評）		準備資料
	T 1	T 2	
1 本時の課題を確認する。 性被害の防止について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習のねらいを確認して、積極的に活動に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を黒板に掲示する。 	
2 アンケート結果から気づいたこと、感じたこと、疑問に思ったことなどについて、意見を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から性被害の危険が身近にあることに気づかせたい。性被害の実際について的確につかませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間をまわり、グラフの見方や身近な性被害について考えられるように、個別に支援する。 	アンケート結果
3 身近に起きた性被害の事例を教師から聞きながら、性被害の種類について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 女子に被害者が多いこと、男子に加害者が多いことに気づき、問題意識を持たせたい。 安易ないたずらやからかいも相手を傷つけたり不快して、加害者になることをおさえたい。 性被害には、時間的、環境的、人的条件があることに気づかせる。 携帯電話の危険性にも気づかせたい。 <p>(評) 性被害の実態や原因を理解している。(観察・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料を提示する。 	性被害に関する資料
4 性被害の起きる原因をグループで話し合いワークシートに記入し発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 機間をまわり、意見が出やすいように支援する。 		ワークシート ストップウォッチ
5 性被害の加害者、被害者の気持ちを考え、ワークシートに記入し発表する。 (1) 被害を加えた人(加害者)に対してどう思うか。 (2) 被害にあった人(被害者)の気持ちはどうだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の意見から、加害者は周りの人からどんなふうに思われるのかを考えさせたい。 被害者は心にも深い傷を負い一生トラウマになり、人生をも変えてしまう危険性があることを認識させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間をまわり、被害経験の生徒には、配慮しながら支援を行う。 ワークシートに記入できない生徒への支援を行う。 	ワークシート
6 事例をもとに、性被害時の対応をグループで話し合い、ワークシートに記入する。代表者が前に出てロールプレイングを行い、行動について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイングを観察する際は、演じる側の声の大きさや言葉がはっきりしていたか、相手にとった態度とせりふ、相手との距離などに注意しながら見るよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイングを行う前に役割の生徒に場面の補足説明をしておく。(誘う役は教師が行う。) 	ロールプレイングの見方 演技者(A子・B男) ワークシート ストップウォッチ ワークシート
7 性被害を防止するためにはどのようなことに注意したらよいか考える。	<ul style="list-style-type: none"> 誘惑に負けない強い意思や、服装、言動、態度を自分自身で律していくことの大切さを考えられるようにする。 <p>(評) 性被害にあわないための対応を理解し、自分の身を守るために行動をとろうと判断している。(観察・ワークシート)</p>		ワークシート
8 万が一、被害にあつてしまった時のことを考える。		<ul style="list-style-type: none"> 被害を受けた場合は必ず親や警察・学校に報告し、必要がある場合は病院で診察を受けることを伝える。 机間をまわり、ワークシートへの記入を支援する。 	ワークシート
9 感想をまとめると。	<ul style="list-style-type: none"> 今後の自分はどうしたらよいか、各自の考えをまとめられるように支援する。 		